

芝浦工業大学とアカリクは 連携協力に関する協定を締結しました

芝浦工大×アカリク、実践的な博士人材の育成と輩出を目指す

芝浦工業大学（所在地：東京都江東区、学長：山田 純、以下芝浦工大）と株式会社アカリク（本社：東京都渋谷区、代表取締役：山田 諒、以下アカリク）は、2025年6月10日、芝浦工大在学生および修了者等に対するキャリア開発および就職支援サービスの提供について、相互に連携・協力するための協定を締結しました。

芝浦工大とアカリクは本協定を通じ、科学技術・イノベーションに貢献する博士人材の育成を強化し、それらを通じて社会の発展に寄与することを目指しています。



写真左より、アカリク 山田諒代表、芝浦工大 山田純学長

調印式と対談を開催

2025年6月10日、芝浦工大豊洲キャンパスにて、本協定締結の調印式と、芝浦工大山田純学長およびアカリク山田諒代表のトップ対談を実施しました。対談では、主に以下の内容について意見交換が行われました。

- 芝浦工大の特長と強み
- 芝浦工大における博士人材育成と教育・研究支援体制
- アカリクから見た工学系博士人材の強みと企業ニーズ
- 近年の博士人材の傾向と活躍の場
- 連携協定に基づく取り組みと両者への期待
- 芝浦工大の博士学生へ進学する学生へのメッセージ

対談内容の詳細は、芝浦工大ウェブサイトおよびアカリク公式noteにて近日中に公開予定です。



本協定を通じて目指す取り組み

本協定の締結を通じ、芝浦工大とアカリクは、以下の取り組みをはじめとするキャリア支援施策を展開する予定です。

- 博士学生に特化した就職相談の実施
- キャリアセミナー（民間就職・起業等へ向けて）の実施
- 能力開発等のためのワークショップの企画・運営 など

協定に至る背景

急速に変化する産業構造と技術革新の中で、理工系の実践的な研究力と課題解決力を備えた博士人材の社会的な重要性が一層高まっています。このような状況を受け、芝浦工大では、従来からの高い就職実績に加え、さらなる研究力を持つ高度専門人材の育成と輩出に力を入れており、今後は博士課程への進学者数を増やし、企業や社会で活躍できる理工系博士人材をより多く輩出することを目指しています。

今回の協定締結により、アカリクがもつ博士人材のキャリア支援ノウハウや、産業界との豊富なネットワークを活用し、芝浦工大の博士課程学生に対して多様なキャリアの選択肢を提示するとともに、企業側に対しても同大学の実践的な研究力や人材の魅力を伝える機会を創出します。博士課程への進学を目指す学生にとっては、「出口（キャリア）の可視化」が進むことで進学への不安を軽減し、挑戦への後押しとなることを期待しています。

こうした取り組みを通じて、本協定は、芝浦工大における博士人材育成のさらなる強化と、博士人材の社会的な活躍の場を広げることを目的としています。

芝浦工業大学について

大学名：芝浦工業大学 (<https://www.shibaura-it.ac.jp/>)

運営法人：学校法人芝浦工業大学

代表者：学長 山田 純

所在地：東京都江東区豊洲3丁目7番5（豊洲キャンパス）

概要：理工系大学として日本屈指の学生海外派遣数を誇るグローバル教育と、多くの学生が参画する産学連携の研究活動が特長の大学です。東京都（豊洲）と埼玉県（大宮）に2つのキャンパス、4学部1研究科を有し、約9,500人の学生と約300人の専任教員が所属。2024年には工学部が学科制から課程制に移行。2025年にデザイン工学部、2026年にはシステム理工学部で教育体制を再編し、新しい理工学教育のあり方を追求していきます。創立100周年を迎える2027年にはアジア工科系大学トップ10を目指し、教育・研究・社会貢献に取り組んでいます。

アカリクについて

会社名：株式会社アカリク (<https://acaric.co.jp/>)

創業：2006年11月

代表者：代表取締役 山田 諒

所在地：東京都渋谷区渋谷2-1-5 青山第一田中ビル2階

事業：大学院生・ポストドク向け就活情報サイト「アカリク」の運営、研究分野・業種・職種別イベントの企画開催、大学等でのキャリアセミナーの実施、新卒大学院生・若手研究者・大学院出身者の人材紹介、オンラインLaTeXエディター「Cloud LaTeX」の運営など

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

学校法人芝浦工業大学 企画広報課：堀口

メールアドレス：koho@ow.shibaura-it.ac.jp

株式会社アカリク 広報PR担当：土岐

メールアドレス：pr@acaric.co.jp